

常陽史料館企画展 「妖怪展」関連イベントのご案内

常陽史料館では、本展の開催に合わせて、子どもから大人まで楽しみながら「人間と妖怪の関わり」を深く知るイベントを開催します。ぜひご参加ください。

1. 講座「茨城の妖怪話—茨城の常世観と妖怪話誕生の関係—」

茨城県にはどのような妖怪伝説があるのでしょうか。本号執筆者である当館学芸員が、県内各地の妖怪話を伝説が生まれた背景などにも触れながら詳しく紹介します。

- 日 時 / 2026年7月11日(土) 13:30 ~ 15:00
- 講 師 / 千葉隆司(当館学芸員)
- 定 員 / 20名(応募多数の場合は抽選)
- 資 料 代 / 500円(当日現金払い)
- 応募締切 / 6月20日(土) *往復はがきは当日必着



百鬼夜行相馬内裏【落合（歌川）芳幾】(坂東市立資料館所蔵)

2. 民話を聞こう！いばらきの妖怪ばなし

読み聞かせユニットによる「妖怪」をテーマとしたお話会です。愉快だけれどちょっぴりこわい昔話の世界を、ぜひご家族でお楽しみください。

- **日 時** / 8月1日(土)
14:00 ~ 15:00
- **演 目** / 「河童の税金」「すすいのの三郎
左衛門がたんぼこたん」ほか
- **語 り** / ことぶきゆめこ(山口由美)
マツトさん(大内真智)
- **定 員** / 30名
(小学生以上、応募多数の場合は抽選)
- **参加無料**
- **応募締切** / 7月10日(金)
*往復はがきは当日必着

■ ことぶきゆめこ

笠間市在住陶芸作家。陶芸の傍らボサノバの歌い手、イベント司会などのステージ経験をすううちに、地元の民話に触れ民話語りを始める。狐や天狗、河童や山姥など、登場人物の声色を使い分け、拍子木やでんでん太鼓、鈴などを鳴らし、時には歌や踊りを入れた一人芝居のような語りは、子どもから大人まで楽しめるよう、毎回工夫を凝らしている。最近では独特のパフォーマンスと声色で音楽劇のナレーターにも挑戦中。



■ マツトさん

水戸芸術館専属劇団ACMメンバー。同じく専属劇団ACMメンバーの「ゆうくん」こと小林祐介と結成した人気の絵本読み聞かせユニット「ゆうくん」とマツトさん」としても活躍中。

お芝居をしたり、読み聞かせしたり、ワークショップをしたり、演劇の楽しさをみんなと分かち合うべく活動中。主な出演作品：「かいじんハテナ」「さんまいのおふだ」「おおどろぼうホツェンプロツ」等



申込方法

必要事項(①参加者全員分の氏名②年齢③住所④電話番号)を記入してE-mailまたは往復はがきで下記宛先までお申し込みください。

*E-mailは当館からの返信を受信できるアドレスでお申し込みください。

●宛先

【E-mail】 gb-shiryokan@joyobank.co.jp
[件名] 1 茨城の妖怪話 2 民話を聞こう

【往復はがき】〒310-0024 水戸市備前町6-71 常陽史料館
1 茨城の妖怪話 2 民話を聞こう

*E-mail、往復はがきいずれも、1回の応募につき1、2のどちらか1つをお選びください。

お問い合わせ

常陽史料館

〒310-0024 水戸市備前町6-71 ☎029(228)1781(火曜日~土曜日10:00~17:00)
<https://www.joyogeibun.or.jp/siryokan/>